

【WinBeキッズ】1月のテーマ：復習

1月は復習月です。「英語を使う中で楽しく復習する」、これが4ヶ月に一度の復習月のコンセプトです。具体的には10月～12月に勉強した単語や表現を、ロールプレイ（寸劇）とActivitiesとGamesの中で繰り返し使っていきます（今月の復習の範囲は、動物・ヒーロー・好きなもの・嫌いなもの（Animals / Superheroes / Likes & Dislikes）です）。

レッスンA - では、生徒たちはサファリパークに行き、多くの動物を見ます。ところがバスが事故！ スーパータクティンが助けに来てくれて窮地を脱出。無事学校に戻って、今日見た動物当てクイズに興じます。レッスンB - はペットショップの場面からスタート。好きな動物、嫌いな動物について家族で話し合います。一人の生徒が全部の動物を逃がしてしまいました。スーパータクティンが助けに来るまで動物がどんな風に動くのか家族で話し合います。

今年1年みんな頑張って英語を勉強してくれたね。来年も頑張ろうね！



Native Teacher's Room



Hello everyone! Christmas is here, the weather is cold but hopefully we get some snow to make a snowman! It's nice to meet all the students for this first time! I look forward to getting to know them and teaching and getting to know to know them. I hope everyone enjoyed the Christmas party and looking forward to a great new year. Thanks everyone from the new teacher Josh! :)

みんなこんにちは。もうすぐクリスマスですね。だんだん寒くなってきているけど、雪だるまが作れるくらいに雪が降るといいよね！ みなさんはじめまして！ みなさんと勉強でき、みなさんのことをもっと知りたいと願っています。良いクリスマス、良い年をお迎えください。それでは、WinBeの新講師、ジョシュでした。

Director's Room



みなさんこんにちは。室長の水谷です。12年の年の瀬はいかがお過ごしですか？先日のクリスマスパーティーには非常に多くの生徒様・保護者様にご出席いただきまして、本当にありがとうございました。とても楽しいパーティーでしたね。しかし、非常に残念なお話ですが、このクリスマスパーティーがマイク先生とのお別れ会になってしまいました。先月からマイク先生が退職する噂をお聞きになられた保護者様から、残念である、続けるよう説得してほしい等の温かいお言葉をたくさん頂戴したのですが、ご本人の家庭的な事情である事と本人が強い信念を持っていったため、彼からの申し出を受けざるを得ませんでした。ご理解いただければ幸いです。しかし、先週から皆さんのレッスンを担当させていただいている、Josh(ジョシュ)が、マイク先生と同等のクオリティを維持できるよう頑張っており、マイク先生からもお墨付きをもらっております。私自身、今後も定期的に彼と会う約束をしておりますし、相談にものっていただける約束もしております。もちろん、マイク先生とジョシュ先生も繋がっており、お互いに相談できる環境にあります。また、今後も、時々、WinBeに遊びに来られるとも聞いておりますし、近い将来、WinBe桑名中央校に戻って来てくれると信じております。マイク先生に笑われないように、頑張って英語を勉強していきますよ！

Friendly words of encouragement go a long way

今月の読み物

「ほめる」という報酬

It took just a two-line positive review in a newspaper to give an obscure painter so much confidence that he eventually became one of Japan's greatest artists.

Ikuo Hirayama (1930-2009) was in his late 20s and in deteriorating health when he completed a series of paintings called "The Transmission of Buddhism," and submitted them to the year's Inten Exhibition of the Japan Art Institute.

A few days later, a newspaper ran an Inten review by Michiaki Kawakita (1914-1995), an esteemed art critic. The last two lines of the review praised Hirayama's works as "unique and interesting."

Hirayama was elated. He read the review over and over, drawing from it the encouragement he needed to keep going.

"Using a boxing analogy, it was as if I was saved just before I went down," Hirayama recalled.

Had it not been for those two lines, Hirayama's talents might not have blossomed. It attests to the power of words of praise.

A group of Japanese scientists recently concluded from their experiments that people's motor skills improve when they are praised.

In the experiments, the subjects' typing speeds were checked. Those who were praised after People are said to thrive on praise, and the scientists said their experiments proved this to be true. The human brain is said to register praise as a reward. The typing experiments seem to have. According to an old saying, children need "three parts scolding, five parts praise and seven parts When we praise or scold someone, we all want to think we are doing it for the person's own good

新聞紙上のたった2行のほめ言葉が、無名だった画家を励まして、押しも押されぬ存在に導いた話がある。シルクロードの絵で知られる故平山郁夫さんは20代の終わり、体調の悪化をおして「仏教伝来」を描き、日本美術院展に出品した。

数日して、名高い美術評論家だった河北倫明の院展評が新聞に載る。記事の末尾で「おもしろい味がある」とだけほめていた。平山さんは歓喜する。何度も読み返しては、励みにして書き続けた。「ボクシングでいえばダウン寸前に救われた」と。

その2行がなければ、のちの輝かしい画業はなかったかもしれない。そう思えば、ほめる言葉は大切だ。実際のところ、ほめられることで運動技能は向上するのだという。日本の科学者グループが先ごろ実験の結果を発表した。

キーボードを打つ速さを調べた。1回目を打ち終わった後にほめられた人たちは、2回目の結果が20%上昇した。「ほめて伸ばす」ことの科学的な妥当性が示されたと、グループは分析している。

人間の脳は、ほめられることを報酬と感じ取るようだ。平山さんとキーボードの実験は、かけ離れているようだが根は同じだろう。芸術も日常生活も、なべて人の営みである。

「三つ叱って五つほめ七つ教えて子は育つ」と俗言にいう。なかなかの塩梅(あんばい)と言うべきか、中学生も、親にほめられることの多い子は自己否定感が低いという調査結果がある。ほめ上手にして叱り上手。誰もそうありたいと願うところだが、さて。

1月の予定表

12/23(日)～1/7(月) 年末年始休業(お月謝分の全てのレッスンがお休みです)
12/22(土)～12/26(水)・1/4(金)～1/7(月)
冬休み特別企画「ダンスde英会話」コース
1/29(火)・1/30(水)・1/31(木)
全てのレッスンがお休みです。(メイクアップレッスン<振替授業>を除く)



WinBe

桑名中央校

〒511-0058
桑名市千代田町38岡村ビル3F

TEL 0594-27-4070 FAX 0594-27-4051 wb-kuwanac@dct-ie-mie.jp